

CHALLENGE GUIDE

カラモニー外壁塗り替え
チャレンジ・ガイド





CHALLENGE GUIDE

カラモニー外壁塗り替え チャレンジ・ガイド

塗料と塗装用具について	3
Step 1 まず最初に安全・確実な足場をご提供します	4
Step 2 壁の汚れをこの段階でしっかり落としましょう	5
Step 3 次は塗料を飛ばさないように養生しましょう	6
Step 4 クラックは弾性シーリング材で補修します	7
実際に塗装を始める前に	8
Step 5 リラックスして まずは下塗りから始めましょう	9
Step 6 いよいよ上塗り 思いっきり楽しみましょう	10

さあ、あなたもお家の塗り替えにチャレンジしましょう!

「犬小屋程度なら自分でペンキ塗りをしようと思うけど、家の壁まではどうも…」

お庭の手入れや手作り本棚など、何でも上手にやってしまうあなたが、なぜお家の塗り替えになると躊躇されるのですか？

住宅事情の違いもあるでしょうが、外国では自分の家は自分で塗るのが当たり前！とバンダナを頭に巻いてカッコよくペイントしている風景を目にします。

では、不安の中身は何でしょう。

どんな種類のペンキを塗ればいいのか？

塗り方はどうするのか？

高い壁はどうすればいいのか？

ハガしてきたらどうしよう…

ペンキが手や顔に着いたらどうすればいいのか？

そうです。ペンキ塗りといっても家の壁となれば、そう簡単なものではありません。色さえ付けばいいのではなくて、塗装には家を保護するという大きな役割があります。そのために、ペンキの種類、工程、塗装方法などキチンと守るべき基本やコツがあるのです。

日本ペイントが全国に展開する総合ペイントショップ「カラモニー」は、自宅の塗装にチャレンジする方に、プロの塗装材料の提供とともに適切なアドバイスを行なう塗料と塗装の相談ショップです。

失敗しそうで不安なら、まずカラモニーショップに相談してみましょう。

家族みんなのペイントで余暇を過ごす楽しみと、完成したときの達成感があなたのチャレンジを待っています。

塗料と塗装用具について

【塗料】



セラミック水性シリコン塗料「ウォーターガード」

ウォーターガードは、さまざまな状況に対応する、環境にやさしいオール水性の塗料です。住まいを雨や紫外線、汚れはもちろん、凍やがびからも守り、長期間その美観を保ちます。

高耐久性

色つや
長持ち

透湿性

壁内結露を
防ぐ

低汚染性

汚れが
つきにくい

耐凍・防かび

凍やがびの
発生を防ぐ

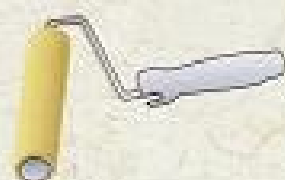
弾塑性

凍氷から
壁を守る

オール水性

人と環境に
やさしい

【塗装用具の一例】



ローラーバケ

壁面を始め、広い面積を均一に塗装するのに便利です。



ローラーバケット

この中に塗料を注ぎ入れ、使用します。付属の網も必需品です。



スジカイバケ／平バケ

隅の方、凹部などや、細かい部分を塗装するときに使用します。



皮スキ

はがれたり、浮き上がった古い塗膜を取り除くのに使います。



ワイヤーブラシ

古い塗膜や、鉄部のサビ落としに重宝します。



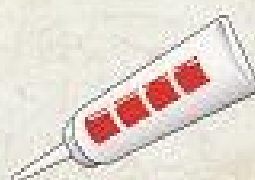
サンドペーパー／耐水ペーパー

塗装面を整えるのに使用します。最近はいろいろな素材の物も市販されています。



ビニル付養生テープ

折り畳まれたビニルが養生テープと合体した、便利な用具です。



弾性シーリング材

下地に発生したひび割れを埋めるために使用します。



デッキブラシ／高圧洗浄機

壁面についたホコリ、汚れを洗い落とすのに使用します。

step 1 まず最初に 安全・確実な足場を ご提供します (セーフティ足場のレンタル)

家の外壁を塗り替えるときに、一番気になるのが足場をどう確保するかですね。でもご安心ください。まずは資格を持った専門の作業スタッフが、家全体を囲むようにしっかりと足場を組んでいきます。パイプだけの足場ではないので、とっても安心です。



ご覧のとおり、ガッチリと足場を組んでいます。セーフティ足場は、キャットウォークもしっかりとしていますので、パイプだけの足場に比べて、初心者でも恐怖感を感じることは少なくなっています。



高所での作業中は、このようにヘルメットと安全帯をしっかりと装着して、危険のないように充分注意しましょう。

注1) セーフティ足場のレンタル料金は3カ月でのお見積もりになります。 注2) 足場レンタルの取り扱いをしていないショップもあります。 注3) 足場設置条件(敷地の広さ、隣接建物、近隣状況等)で、レンタルできない場合があります。 注4) レンタルには足場使用条件への同意が必要です。

Step 2

壁の汚れを この段階でしっかり 落としましょう

夏の暑い日も、冬の雪の中も、ずっと外気にさらされている外壁は、思った以上に疲弊し汚れているものです。シーラー(フィラー)による下塗り工程でいくらかは処理できますが、ここは今までの感謝の気持ちを込めて、しっかりと汚れを落としましょう。



基本的にはホースで水を掛けながら、デッキブラシで汚れをこすり落としていきます。

洗浄作業中は水と一緒に多量のホコリが飛ぶので、マスクとゴーグルを着用しましょう。

家庭用高圧洗浄器を使って、一気に汚れをはじき飛ばす方法もあります。水の勢いが強いので、窓の閉め忘れにはくれぐれもご注意ください。

また、業務用の高圧洗浄器につきましては、カラモニーショップにご相談ください。



鉄部のサビはワイヤーブラシやサンドペーパーで落とし、はがれそうな浮いた塗膜は皮スキではがして、サンドペーパーで下地を整えます。

また、外壁のはがれかかった塗膜は皮スキやヘラでそぞ落とし、家庭用セメントや弾性シーリング材で下地を整えます。

Step 3

次は塗料を 飛ばさないように 養生しましょう

塗料を扱っていると、思わぬところまで飛び散っていたりするものです。塗料を塗らないところ、塗料がついては困るところは、マスキングと養生でしっかりと保護しましょう。この作業の善し悪しで、意外と仕上がりに差がつきますよ。

【失敗しないポイント】テープはまっすぐ、しっかり貼りましょう。はがした時の綺麗さが違います。



ビニル付養生テープをしっかりと貼り、折り畳まれたビニルシートを広げます。養生テープは一見弱そうですが、しっかりと粘着するので大丈夫です。

窓まわりは上下、サイド共に養生し、窓ガラスに塗料が付かないように注意します。その他にも、ドアまわりや雨どい、基礎コンクリートの部分も忘れずに養生しましょう。



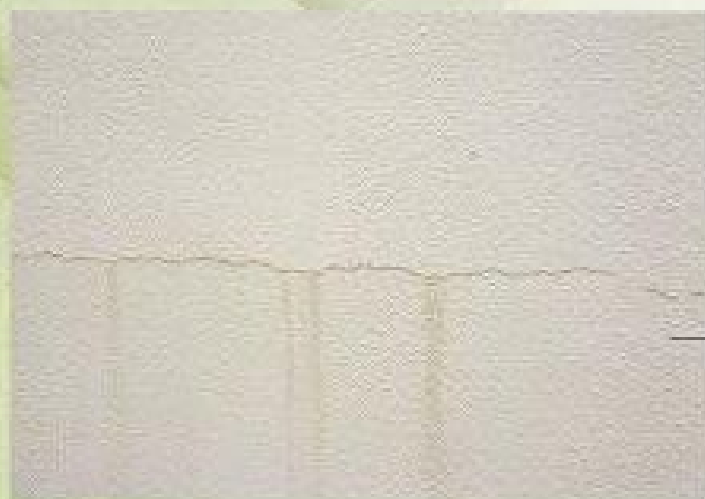
換気扇の排気口フード、エアコンの室外機、1階部分の出窓のひさしなどは、うっかり養生し忘れやすい場所です。どこにこぼれる可能性があるかを推理しながら、しっかりと養生しましょう。

※高所では安全のため、必ずヘルメットをかぶりましょう。

Step 4

クラックは 弾性シーリング材で 補修します

大きなクラック(ひび割れ)や欠損などは、下塗りのシーラー(フィラー)では隠しきれません。弾性シーリング材を使ってキッチリと補修しておきましょう。また雨どいやケーブル類の引き込み部など、金属類の根元に充填しておくのも雨漏りに対して効果的です。



このような大きいクラックになると、もうシーラー(フィラー)では埋めることができません。放っておくと隙間から水などが浸入し、傷みの原因となりますので、このステップで埋めておきます。

【失敗しないポイント】 シーリング材は用途に合ったものを選びます。必ずショップのアドバイスを受けましょう。

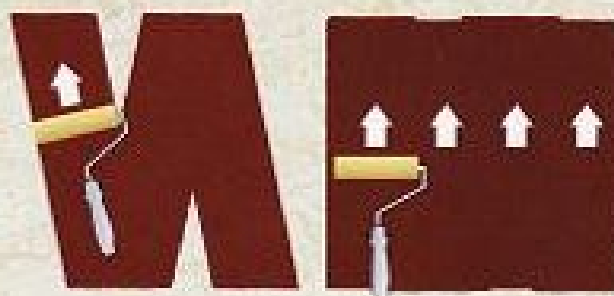
弾性シーリング材を、先端ノズルから直接クラックに充填していきます。そのままではモルタルのテクスチャーとの差異が出ますので、古タオルなどを軽く押しつけて凸凹をうまく表現します。



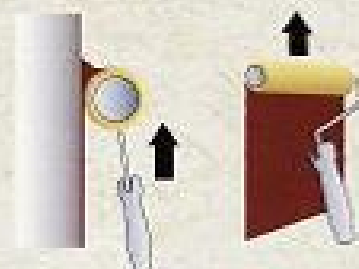
窓枠の角などもクラックが入りやすい部分です。同様に弾性シーリング材でしっかりと充填していきます。うまくテクスチャーをなじませて、補修のあとが目立たないようにしましょう。

実際に塗装を始める前に

【ローラーバケでの塗り方の基本と塗り方向】



壁面に塗料を塗るときは、まず最初M字形に塗料をくばり、隅をおかす均一に上下左右に塗り広げていきます。ローラーバケを早く動かすと、なじまないうえに塗料が飛び散るので、落ち着いてゆっくりと。その後軽く上下に動かして、塗膜面を整えます。



ローラーバケは毛に含まれた塗料を、壁面に押し出しながら塗っていくイメージで、基本的には下から上に向かってゆっくりと動かし、塗料のボタ落ちを防ぎます。

【作業を中断するときは、塗料が乾燥しないように】



3～4時間程度の休憩時は…

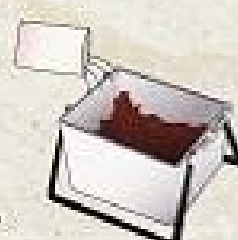
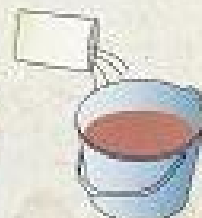
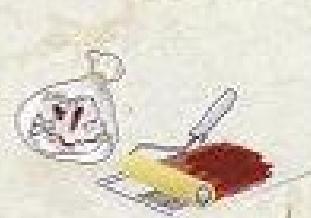
ローラーバケはビニル袋に入れて口をしっかり輪ゴムで留めます。
ローラーバケットには隙間が空かないようにラップをかけておきましょう。



明日の朝から再開する時は…

ローラーバケはローラー部分を外して、水に浸しておきます。
バケット中の塗料は、軽く霧吹きで水を掛けた後、ラップで外気を遮断します。

【環境のことも考えて、用具の後始末はしっかりと】



ローラーバケについた塗料は古新聞紙に塗りしごき、乾燥させたあと一般ゴミとして処分します。ローラーバケはローラー部分を外し、バケツの水でよく洗います。

汚れたバケツ水は水性塗料用のあとしまつ剤で、水と塗料カスに分離させて排水します。ローラーバケットに残った塗料も同様にペイント硬化剤で固めて処分します。

step 5

リラックスして まずは下塗りから 始めましょう

外壁の塗装を始めるにあたり、まずは練習をかねてシーラー（フィラー）で下塗りをしましょう。シーラー（フィラー）は吸い込みを止め、上塗りの塗料に対して密着性を向上させるほか、洗いきれなかったホコリも覆い隠してくれます。

【失敗しないポイント】下塗り材の選定は大切です。必ずショップのアドバイスを受けましょう。



まずはローラーバケットに1/3程度の量のシーラー（フィラー）を注ぎ入れます。シーラー（フィラー）はカタログの希釈割合を参考に、水を加えて攪拌します。



ローラーバケをシーラー（フィラー）の液面に浸けて、バケットの網で「下へ向かって」繰り返してこき、なじませます。ローラーバケを持ち上げて、塗料がポタポタ落ちない程度がちょうどいい含み加減です。



シーラー（フィラー）は壁全体に塗っていきませんが、クラックを補修した部分は特に念入りに塗ります。ローラーバケは「下から上」に向けて、毛に含んだシーラー（フィラー）を押しつつ、押し伸ばす感じで。



基本的には、いったん壁にM字型にシーラー（フィラー）を塗り置き、次にその隙間を埋めていく感じでゆっくりと塗り伸ばします。塗る面からローラーバケが浮くとムラになるので、丁寧に動かします。

step 6

いよいよ上塗り 思いっきり 楽しみましょう

お待たせしました。いよいよ上塗りです。下塗りの段階で塗装のコツも徐々につかめたのではないのでしょうか？ でも焦らずゆっくり、特に高いところでの作業は安全に充分注意して、どうぞ楽しく塗り進めていってください。

【失敗しないポイント】 塗装はまず最初に、端部や換気扇まわりなどの塗りにくい部分をハケ塗りします。



まずは、ローラーバケでは塗りにくい部分から塗装します。マスキング処理での塗り分け部分や、養生をした部分のまわり、凹角などはスジカイバケを使うなりして、先に塗っておきましょう。



塗り方の基本を思い出しながら、モルタル壁の凹凸にしっかり塗料が乗るよう、ゆっくりローラーバケを動かしましょう。写真のように左側方向に向かって塗り進めていきます。



このようにM字の隙間を埋める感じにローラーバケを使って塗装します。最初のうちは家の裏手に面した、手の届く部分から始めて、慣れてきたら玄関側や高所部分にチャレンジしていきましょう。



塗り進めるうちにムラはなくなっていくます。乾燥後、さらにもう1回上塗りして仕上げましょう。塗装が全て終わった後、再び専門のスタッフがセーフティ足場の解体に伺います。お疲れさまでした！

「チャレンジ!」 or 「おまかせ!」 カラモニーなら、どちらも納得!

自分で
チャレンジ

カラモニーショップの
サポートを利用!

プロに
おまかせ

「ちょっと難しそうだな」と
思われる方は、プロの施工に
おまかせください。

上手な塗り方をアドバイス

専門スタッフが商品の選定から、上手に塗るコツ
まで、分かりやすくお教えします。

■アドバイスツール

塗り替えのポイント、注意
点を工程ごとに分かりやす
くまとめた、施工手引き書
をご用意しています。



■塗装教室の開催

基本的な塗り方から道具の
取り扱い方法まで、初心
者の方にも分かりやすく、
丁寧に指導します。



■カラーバリエーション

カラモニーでは、幅広いカラーバリエ
ーションをご用意し、色を選択する楽しさをご提供します。
※お気に入りの家の写真や建物の切り抜きなどがあると、ご提案がス
ムーズです。

塗料・塗装用具の準備

カラモニーでは、通常プロペインターが使用して
いる、高品質商品を取りそろえています。

■環境への配慮

臭いの少ない低臭タイプの
水性塗料を中心に、用途に
合わせた塗料をご提案・ご
提供します。



■オリジナルカラー調色

あなたのお好みの色をお作
りします。

■塗装用具もご用意

各種塗装に最適な塗装用具
をご用意しています。



徹底した調査・診断

塗り替えのプロ「リウォール診断士」による調査・診断
カラモニーでは、リウォール診断士または専門スタッフが下
地調査・診断を実施し、調査診断書で外壁がどの程度劣化し
ているのかを分かりやすくご説明します。

リウォール診断士とは—

日本ペイントが養成した塗り替えのプロ
フェッショナルが「リウォール診断士」
です。塗料の知識・下地調査診断・施工管
理・安全管理・セールスマナーにおよび、
日本ペイント診断士養成コースを修了して認定された「ニッペ
リウォール診断士認定証」を所持しています。



実測に基づいた明確な見積

今までの一般的な施工の見積は「塗装工事一式〇〇円」「1平
方メートルにつき〇〇円」といったように、内訳が不明瞭な
ものが一般的でしたが、カラモニーでは綿密な実測による精
算を行い、塗料の使用量や、塗装面積を明確に提示した見
積をご提出します。

安心施工

工事は日本ペイントスタッフの研修を受けた作業スタッフが
行います。またリウォール診断士または専門スタッフが足場
架設後の再調査、中間チェックを実施し、工事完了後お客様
と一緒に完工検査を行います。

安心のアフターフォロー

塗装工事を実施した部分の塗膜のふくれ、はがれなどの品質保証を日本ペ
イントとの共同で実施。工事終了後も、
安心しておまかせいただけます。



ご相談は、お近くのカラモニーショップへ

〒673-0403 兵庫県三木市末広3丁目19-23
カラモニーナンバ三木店
TEL 0794-62-7611 FAX 0794-62-9766

NEOPHON PAINT
Colormony
カラモニー

日本ペイントの塗料・塗装相談ショップ
<http://www.colormony.com/>

調色価格 200円(税込)